

令和5年3月15日

第 17 号

夢洞家 源文化



〈特集〉

瑞岡珍牛

天籟隆真

詠夢山空海月情

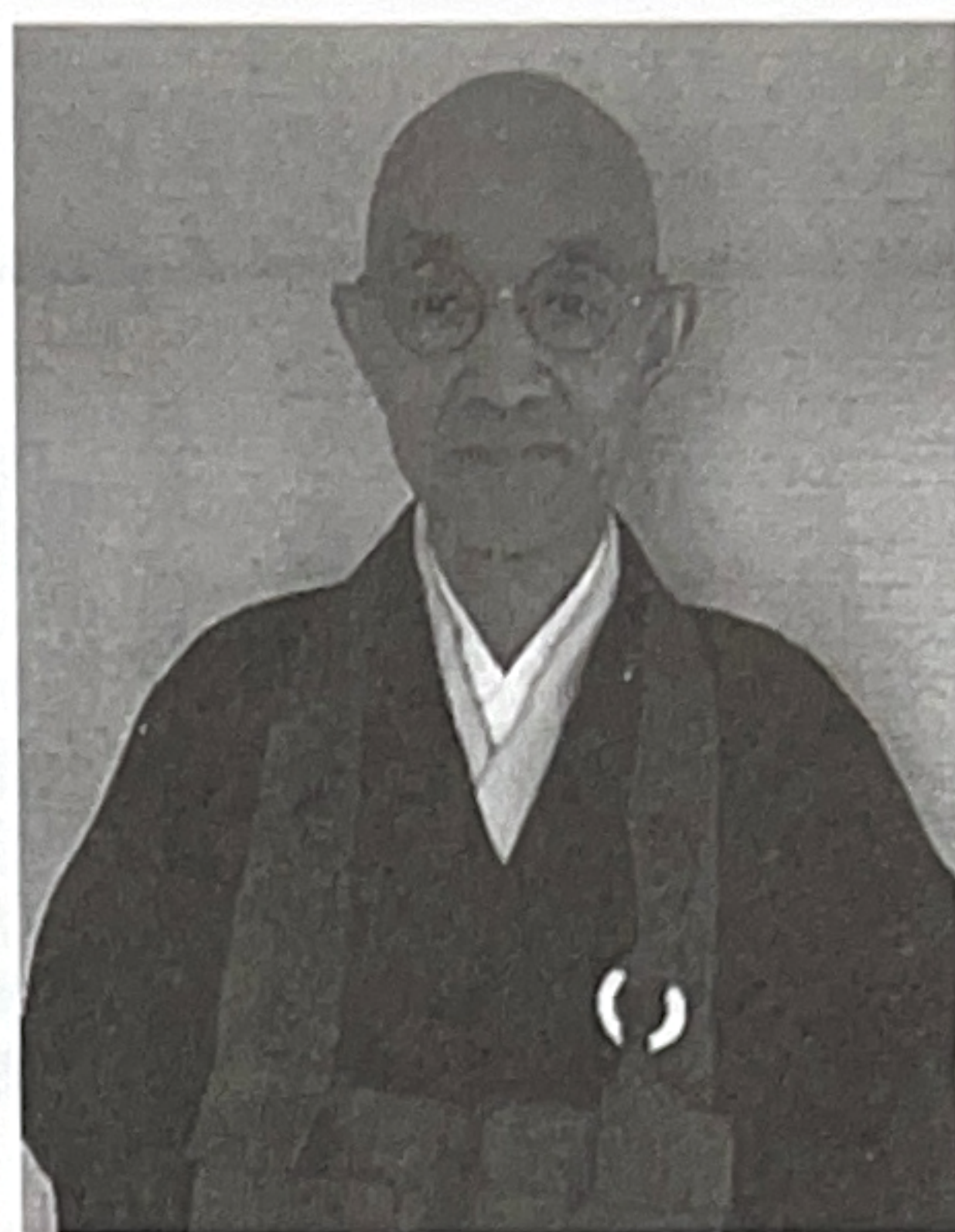
總持周行史



巻頭言

曹洞宗禪文化の会

会長 田 中 機 一



当会会員各位におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。また平素より当会への深いご理解と御支援を賜り心より感謝申し上げます。

再び重なる感染症の流行に未だ終息の見えない中、不安と閉塞感に満ちた約二年半の時が流れました。宗門及び各ご寺院の行事は軒並み延期・中止状態となり、当会に於ても主要行事である春・秋二回の結集をはじめ全ての行事が遂行できない状態が続いており、会員の皆様には大変申し訳なく感じております。

また世界に目を転じれば、ロシアによるウクライナ侵攻が続き、日々悲惨な状況が報道されております。ある軍事評論家がテレビ報道の中で、国土の侵略と共にその民族の「文化と心」を破壊し、その民衆の誇り

と自信を無くすことがより完全なる侵略・占領であると語ってありました。この日本には、美しい自然と長い歴史の上に培われた日本独特の優れた文化が存在しております。特にその根本をなすのが仏教、とりわけ禪文化であると思います。この洞門をはじめとした豊かな禅文化が世間に広く浸透し長く後世に伝わることを祈念する次第です。

当会発足以来、長く顧問をお務めいただきました、加賀大乘寺山主、東隆眞老師におかれましては、昨年五月十七日に遷化されました。老師には結集にご参加いただいたり、講演をお願いしたりと当会に対し大変お力添えをいただきました。また弊師田中一義和尚とも親しくさせて頂き、老師御染筆の「黙」一字「東西・」の二行書いずれも全紙の迫力ある大作を再々大事に床に掛けていたことを思い出します。東老師には更なる御指導と宗門での御活躍を願っておりますが、今は只々大寂定中安からんことを祈念するばかりで居ります。

未だ新型コロナウイルスの終息が見えない中ではありますが、会員各位の家門繁栄とご健勝を祈念致すと共に、当会への変らぬ御厚情と御支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

目次

巻頭言	会長 田中 機一	1	中世後期曹洞宗寺院における禅学修行について —上野国室田長年寺藏「龍瑞記」と「鳳瑞記」を例に—	山本 世紀	172
目次		2			
〈特集〉瑞岡珍牛			群馬県明言寺様楼門建立	翠 雲 堂	193
尾張における珍牛禅師の活躍	川口 高風	6	大本山總持寺宝蔵館		199
瑞岡珍牛 墨蹟		28	光厳寺 達磨大師像と大権修理菩薩像を開眼		207
草創期の慶雲軒	川口 高風	43	駒澤大学禅文化歴史博物館開館二十年		209
〈特集〉天籟隆眞			『宿無し弘文』を読んで	村上 徳栄	210
東隆眞老師御遷化	大野 徹史	88	石庭のひとつの新しい試み	久保 裕	219
曹洞宗太祖・瑩山紹瑾禅師の『洞谷記』 初の現代語訳刊行記念座談会		92	心地の開拓	上野 舜穎	227
太祖研究の泰斗、道俗を接化	安藤 嘉則 幣 道紀 誠 信	98	長源寺(群馬県安中市)風外筆達磨図	岩井 正文	237
天籟隆眞 墨蹟		106	寺力本願	安達 良元	242
天籟隆眞 所蔵印		134	「上州月夜野七福神」開創	鈴木 潔州	246
東隆眞老師に曹洞宗禅文化賞授与		146	「東雲文庫雨宝室より」⑬	坪内 秀元	269
北野元峰禅師のご垂示 —四十年の山里暮らしから—	竹林 史博	150	吉岡博道老師三回忌厳修	安達 良元	297
			嶽林寺でアトラライブ	鈴木 潔州	301
			「水墨のすゝめ 時代を超えて二人展 青柳琴僊 青柳玲子」水墨画明治から令和へ 開催	鈴木 潔州	309

水墨のすゝめ	青柳 玲子	325
秘蔵の一品 ^{②⑩}	鈴木 潔州	335
嶽林寺千手観音立像		
婦恋郷土資料館での特別展		
「宥弁の歩んだ足跡―天明三年の供養と語り継ぎ―」開催に出展	鈴木 潔州	339
東京 観泉寺 晋山結制法要		345
宗門の詩偈		348
御自坊に経蔵を整えるために	菅原 研州	350
日本再発見	関 隆	361
「鏡徳寺本尊造立事業 一心」上梓	鈴木 潔州	365
会員著書紹介		409
本会推薦書籍		414
会員消息		417
篤志寄付		422
会員名簿		423
曹洞宗禅文化の会 清規		433
活波瀾		435

〈禅文化情報〉		
大本山永平寺聖宝閣		416
廣見寺 歴史館宗龍殿		385
泰寧寺布教ポスター	山岸 弘文	388
黒田純夫氏本葬執行(東京 桐ヶ谷寺)		390
駒澤大禅文化歴史博物館 『嗣書』複製へCF挑戦		391
東照宮は大阪にもあった 萩の寺大阪東光院		392
可睡斎 佐瀬東堂退董、感謝の言葉		393
開山珍牛禅師の語録再刊 永平寺名古屋別院		394
季刊誌作り続け40年 神奈川相模原日庭寺		395
吉岡博道会長を偲んで	野地 芳男	396
雪舟国際美術教会展(国立新美術館)		399
禅文化歴史博物館開館二十周年(駒澤大学)		400
曹洞の墨蹟 日曆(京都千眞工藝)		402
鈴木大拙館企画展 世界人 D.T. Suzuki		
(石川 鈴木大拙館)		404
上毛仏教美術研究会(群馬 前橋市立図書館)		406
相模原市茶道連盟50周年記念茶会	松田 壯吾	408



瑞岡珍牛「龍」(江戸時代)